

## 保護者様等向け放課後等デイサービス評価表 結果公表

・令和4年11月末日時点の在籍児保護者(てんとう虫契約41名、わわわ契約32名の内、両事業所併用者を1回答として)48名様に配布  
 ・32名様より回答

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29名	3名		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	28名	4名		・実際に現場を見る事がほぼないのでわからないが、障害への理解はすごくしていただけるのでありがたいです。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	29名	3名		
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1 が作成されているか	32名	0名		
	⑤	活動プログラム*2 が固定化しないよう工夫されているか	29名	3名		・家庭ではできない体験をたくさんさせてもらっています。 ・いろんな活動があって、特に行事的なイベントは子供が楽しみにしています。 ・子どもが毎回楽しみにしています。 ・いつも楽しいプログラムを考えて下さってありがとうございます。 ・外出して公園などに出掛ける活動をしたのか不明である。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12名	14名	6名	・こちらのデイでの活動がそれにあたるかわかりませんが、自分の子どもは交流があります。 ・不明 ・感染対策などで活動の機会がないと思う。 ・これについては求めているので、どちらともいえません。 ・年齢層も幅広いので難しいと思う。コロナウイルス感染症もあるので受け入れる側も容易ではないのではないと思う。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31名	1名		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	29名	3名		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29名	3名		・コロナ渦で面談等が困難な状況なので、どちらともいえないとさせていただきました。

保護者への説明等	⑩	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	29名	3名		・不明・苦情を入れたことはないのではありません。
	⑪	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28名	3名	1名	・いつも連絡帳でお知らせしています。メールでも連絡事項など受けてもらえるのでありがたいです。 ・帰りの送迎で、もう一つの事業所の担当者の場合、子どもが何の活動にどれくらい参加したのかや子どもの様子を聞いても知らないの、仕方がないが残念だなと思う。
	⑫	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	31名	1名		・定期的に写真を含む会報を作成くださっているの、様子がわかりありがたいです。 ・いつもたくさんの行事、活動が載ったお手紙いただいています。 ・行事予定を何日に何をするのかわからない。
	⑬	個人情報に十分注意しているか	28名	4名		・分からないが正直なところです。すみません…。 ・不明
非常時等の対応	⑭	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	31名	1名		
	⑮	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	30名	2名		
満足度	⑯	子どもは通所を楽しみにしているか	31名	1名		・子供の話をよく聞いてくれてありがたいです。 ・本人が話せないのわかりませんが、楽しく過ごしているようです。 ・いつも楽しそうです！
	⑰	事業所の支援に満足しているか	31名	1名		・子供のコミュニケーション力が伸びたと感じています。 ・いつもありがとうございます。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

・2022年の目標「言葉遣いを丁寧にし、愛情を持って一人一人に寄り添う支援を心がける」は、振り返りを行い、言葉遣いの部分について感情的になった時や客観的視点を忘れた時に、不適切な言葉かけをすることもあったと反省点としてあげられ、今後も継続して、常に言葉遣いを意識することが必要との意見が出ました。他にも、愛情を持った支援については、みんなかわいい部分もたくさんあり、一人一人を尊重した声掛けや接し方の試行錯誤を続けながら寄り添って行きたいという意見も出ました。

・2023年の目標は「情報共有を行いながら客観的視点を持った支援を心がける」とします。

\*お忙しい中、アンケートご協力ありがとうございました。保護者様評価結果はスタッフの評価表と一緒に、令和5年1月下旬よりホームページへも掲載しております。